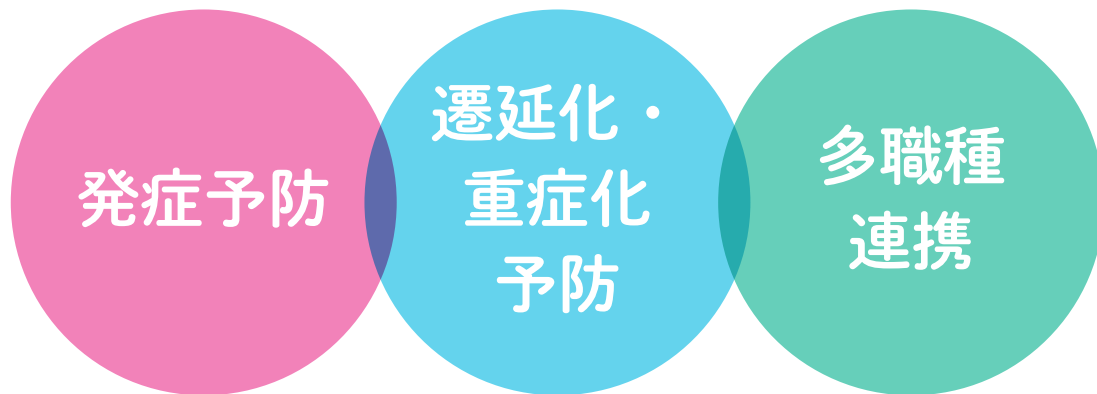




今日の夜勤、誰もせん妄にならなかったね
を実現！

結果が出る せん妄予防の 取り組み



せん妄は、適切なケアにより予防することが可能であり、
看護師は予防に対して重要な役割を担っています。

本特集では、病棟でありがちな事例を通して、せん妄の「発症予防」「遷延化・重症化予防」、
そして「多職種連携」について解説します。



〔執筆〕山口久美 やまぐち・くみ
順天堂大学医学部附属練馬病院 看護部
精神看護専門看護師

看護師免許取得後、大学病院やがん専門病院へ勤務。慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科看護学専攻精神看護CNSプログラムを経て、2012年に精神看護専門看護師認定。2018年より現職。

CONTENTS

はじめに P. 14

PART 1 予防のために知っておきたい、**せん妄の基礎知識** P. 15

病棟でよくある場面



PART 1を
読めば
こう変わる！
せん妄の基礎知識やリスク
因子をおさらいして、「勘」
を言語化できるようにする



PART 1を
読めば
こう変わる！
せん妄と認知症の違いを
理解して、せん妄を早期に
発見できる

PART 2 せん妄を起こさない**発症予防**、
早期発見で活発化を防ぐ**遷延化・重症化予防** P. 22

病棟でよくある場面



PART 2を
読めば
こう変わる！
「看護師個人にもできること
がある」と理解し、
発症予防につなげられる



PART 2を
読めば
こう変わる！
非薬物療法を中心に、
遷延化・重症化予防が
わかる

PART 3 せん妄予防を推進するための**多職種連携** P. 32

病棟でよくある場面



PART 3を
読めば
こう変わる！
看護チーム内の連携・
他職種との連携の
ポイントがわかる

せん妄ケアは、多職種が
それぞれの役割を協働し
て発揮することで進みます



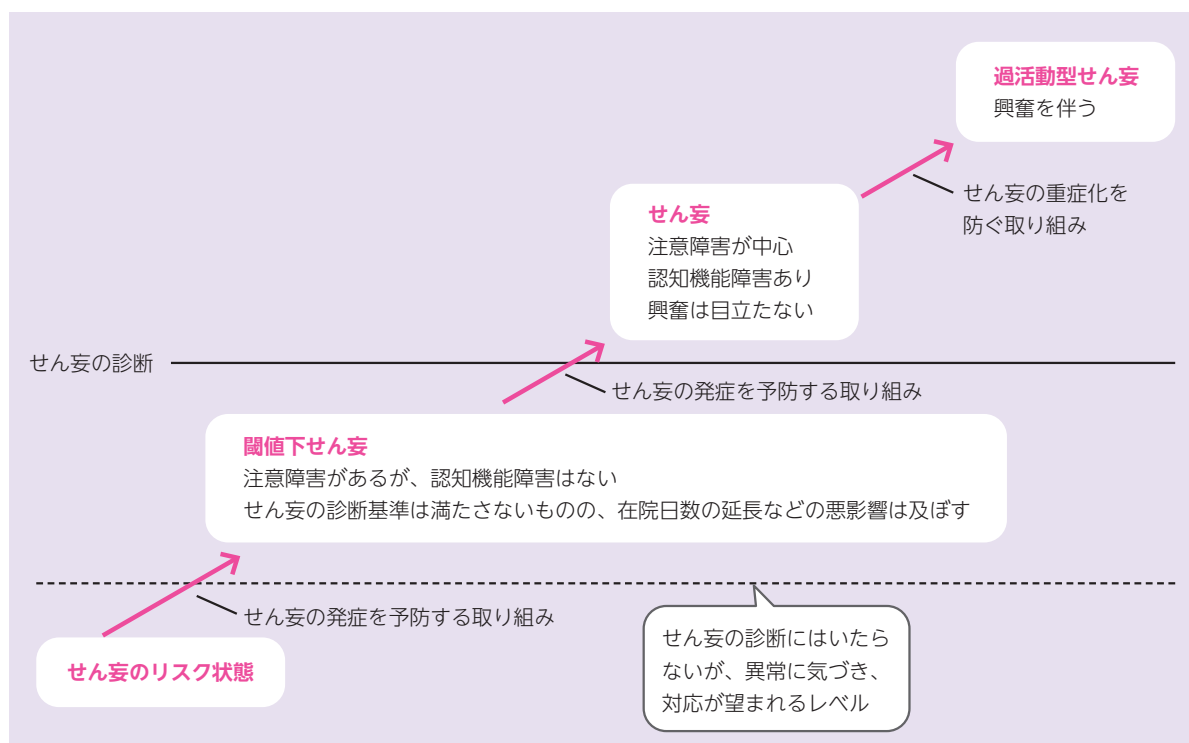
はじめに

急性期から慢性期、そして終末期に至るまで、さまざまな治療の局面で遭遇する病態に**せん妄**があります。混乱状態が現れるせん妄は、患者さんはもとより家族の不安も募り、遷延化したり重症化したりすると、QOL(quality of life:生活・生命の質)へ影響を及ぼします。しかし、せん妄は適切なケアによって予防することが可能です。**図1**は、せん妄の発症から重症化を防ぐ取り組みの流れを表しています。

す¹。私たち看護師は、**せん妄が発症・活発化する前からアンテナを高くして、せん妄予防に取り組む姿勢**が求められます。

この特集は3つのパートに分かれており、PART 1ではせん妄の基礎知識について、PART 2では発症予防、遷延化・重症化予防について解説します。そして、PART 3ではせん妄予防を推進するための多職種連携のポイントを示します。

図1 せん妄を予防する取り組みのプロセス



(文献1より引用)



要所要所で予防的に介入することで、せん妄発症や重症化を防ぐことができます

(引用文献)

1. 小川朝生, 佐々木千幸編: DELTAプログラムによるせん妄対策 多職種で取り組む予防, 対応, 情報共有. 医学書院, 東京, 2019: 13.